

あ と が き

日本作物学会創立 75 周年記念事業のひとつとして、日本における作物学研究のレビュー集が企画され、平成 13 年にレビュー委員会が設置された。そのレビュー集が「温故知新－日本作物学会創立 75 周年記念総説集」として今井 勝会長（当時）のもとで平成 15 年に出版され、懸案であった「日本作物学会 50 年の歩み」以降 26 年間にわたる日本の作物学研究のとりまとめが一応完了した。

この出版をもってレビュー委員会としての当面の仕事は終わったが、学会としてのレビュー活動の重要性をかんがみて、平成 16 年に森田茂紀会長（当時）の指示でレビュー委員会が新たに組織され、学会としての定期的なレビュー実施体制の構築、学会の情報発信機能の強化などの目標が設定された。この目標の一部を具体化する措置として、日作紀における原著論文・総説以外の部分の充実をねらって、研究手法についての紹介記事等の連載が企画され、レビュー委員会のもとに企画ワーキングが設けられた（前田英三、連載ミニレビュー委員長）。

幸い連載企画が学会事業として認められ、葭田隆治日作紀編集委員長（当時）のご協力を得て、日作紀連載ミニレビュー「作物の形態研究法：マクロからミクロまで」が開始された。平成 17 年（74 巻 1 号）以来、平成 20 年 4 月（77 巻 2 号）に終了するまで足かけ 4 年間にわたり掲載された。これを取りまとめたのが本書である。長期間の原稿取りまとめの労を惜しまれなかった前田英三ミニレビュー委員長と川崎通夫幹事に感謝します。

本書の出版は、会員の便宜をはかるとともに学会の情報発信機能の強化の一翼をになうことを意図したものであり、これで平成 16 年から発足した前レビュー委員会の目標の一端がようやく果たされたことになる。本書は、國分牧衛前学会長はじめ執行部の方々のご理解により出版の運びとなった。また白岩立彦レビュー委員会（平成 18 年度～）委員長、山本由徳前日作紀編集委員長はじめ多くの方々のご協力を得た。企画立案・調整にあたった前レビュー委員会（平成 16～17 年度）の大門弘幸幹事、（故）内田直次、有馬 進、中元朋実の各委員を代表して厚くお礼申し上げます。

平成 20 年春

前レビュー委員長 巽 二郎

付記：日本作物学会紀事に掲載した内容を著者のご意向で一部改編しております。

連載ミニレビュー委員長 前田英三